

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価結果

事業所名

デイサービスセンターひかり

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		3	3	他事業所と同じ建物の為、利用児が不安定の際過ごす部屋がないが、場所分けて支援できるところはしている。
	②	職員の配置数は適切である		3	3	基準人数は確保できるが、適切な支援をするためのプラスの配置は出来ない。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			6	現在、車いすなどを使う利用児はいないが、児童の出入り口はバリアフリーになっていない。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2		4	職員の意見を聞き改善に向けていきたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	3		意見を参考に適切な支援を目指している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3		ホームページで公表しているが事業所に公開していない。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3		外部法人による第三者評価の実施している
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1		法人全体における研修や、講師を招いて研修会を開催した
適切 な支 援の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		5	1	アセスメントの更新が毎年できていない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	3		ミーティング等で検討して実施
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		5	1	ミーティング等で検討して実施
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		5	1	行事等は休日に取り入れている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	2		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	6			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	5		退勤時間が違う為、翌日のMTで行っている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	2	2	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	3		子どもたちの目標とリンクして確認している

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	3	1	活動は数種類用意しているが、定期的な見直しが必要
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	2		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		6		看護師が常駐していない為、受け入れしていない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		4	2	情報共有は出来ていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2		相手側より求めがあれば提供しているが積極的には出来ていない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5		個人的に受けている職員はいるが、全員が受ける体制を作る。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	2	2	公園へ外出した際、ふれ合う機会はあるが、今後町が行っている活動に、長期休みに参加する予定。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	4		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1		
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4		積極的に話をするようにしている。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		6		面談を実施していく必要がある。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1		
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	2	法人全体の保護者会に参加できていない。放課後独自の保護者会を考えていく。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		
㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	1		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点
	③⑤	個人情報に十分注意している	5	1		
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	2		
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2		
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	1	周知が足りない。面談での説明と文書で渡します。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1		
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1		
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		6		食物アレルギーの子どもはいない
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1		